



♪わくわく♪

たんぽぽ・ちゅうりっぷ組クラスだより

No.2 R7.5.23

新年度がスタートし、二ヶ月が過ぎようとしています。連休明けは体調を崩す子が多く見られましたが、徐々に回復し、元気な姿が見られるようになりました。これからは外遊びも楽しんでいながら、思いっきり体を動かし、運動、食事、休息をバランスよく行い、体力をつけて運動会へとつなげていきたいと思います。

また、自分でやりたいという意欲の芽生えが生活を通して、ちゅうりっぷ組さんだけでなく、たんぽぽ組さんにも見られるようになってきました。そんな意欲に寄り添えるような援助をしていながら、たくさんの「できる!」「できた!」を増やし、自信をもって次への意欲へとつなげて、たくさんの笑顔も見られるように満足感を味わわせていきたいと思います。

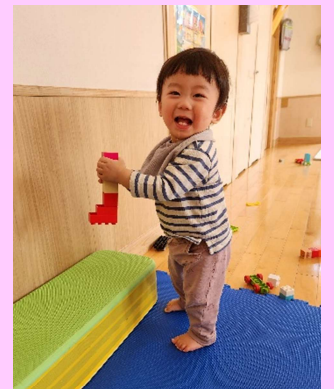
今のやる気を大切に…

これから子ども達は自分でやってみようとする気持ちが高まってきます。園では排泄時のズボン・オムツの着脱、散歩に行く際の靴下や靴を履くなど一人でできるように取り組んでいます。うまくできず、時間がかかってしまうこともありますが、頑張っています。

是非お家でも一人でやってみようとする姿を見守り、時々手を添えるなどの援助をしながら、自分でできた満足感を十分に得られるようにして頂けたらと思います。また、沢山の褒め言葉を掛けて頂くと次への大きな力につながりますのでお願いします。

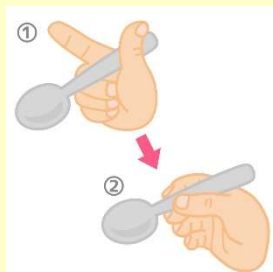


ブロック遊びをじっくりと楽しめるようになってきました。一人で集中して完成させたり、お友達と協力して完成させたりと、集中力を高め、協調性や共感性を育むことにもつながっています。ごっこ遊びに展開する姿も見られ、想像力や独創力の高まりも見られます。また、手指をよく使うので、手先の発達の助けにもなっています。これらの遊びを通して「できた!!」という達成感を味わうことで自信や次へのチャレンジする原動力をも育てていけたらと思います。



お箸について

食具の使い方が上手になってきています。2歳児は、徐々に箸に移行していく時期です。上手持ちができるようになってきたら下手持ち、鉛筆もちの順番に園では練習しています。鉛筆持ちで上手に食べられるようになることが、箸の持ち方にもつながっていますので、ご家庭でも是非取り組んでみてください。



お知らせ

保護者の皆様の利便性を考慮した更なる取り組みといたしまして、6月1日より食事用エプロンとオムツ替えシートを園で準備し、エプロンとオムツ替えタオルの持参を廃止することに致しました。ご家庭で準備する負担を更に軽減できるのではないかと思います。

☆保育目標☆

自分が好き 友だちが好き 東成瀬が好き
～やさしさと自然につつまれて
一人ひとりが輝く子どもの育成を目指して～

☆子ども像☆

*のびのびと元気に遊ぶ なるせっ子
*丈夫な体でやりぬく強さを持つ なるせっ子
*人とかわる力を持つ なるせっ子
*失敗をおそれず挑戦する なるせっ子
*自然とふるさとを楽しむ なるせっ子

1. 1 歳児の発達・姿

- *足腰・腕力が発達し、走ったり、低い段差・階段を上り下りしたりするようになる。
- *「これ なに?」「ワンワン 行っちゃった」など、二語文の会話ができるようになる。
- *自我が目覚め、したいことや嫌なことが明確になったり、自己主張したりするようになる。
- *「おいで」「ちょうだい」など、大人の声かけを理解し、実際に行動する。
- *自ら食具を使って食べる。



2. たんぽぽ組の目標

- <健康> 生理的欲求を満たされる中で、安心感を持って過ごす子ども
- <人間関係> 保育者との愛着関係、信頼関係の下、人とのふれあいを楽しむ子ども
- <環境> さまざまな動きやあそびを通して、感覚の働きを豊かに育む子ども
- <言葉> 自分の思いを発声、身振り等で伝えようとする子ども
- <表現> 自分の欲求や思いを存分に表現することができる子ども



3. 取り組みとしては…

- ☆音楽を流し、楽しく明るい雰囲気づくりをします。
- ☆絵や言葉に親しんだり、真似を楽しんだりできるよう、絵本・紙芝居の読み聞かせをします。
- ☆子どもの体調、天候に合わせて、散歩や戸外活動を多く取り入れます。
- ☆おひさまタイムの活動内容に応じて積極的に参加をし、年上児(2歳以上児)との交流の場も設定していきます。

4. 2 歳児の発達・姿

- *歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動機能や指先の機能が発達する。
- *食事、衣類の着脱など身の回りの事を自分でしようとする。
- *排泄の自立のための身体的機能が整ってくる。
- *発声が明瞭になり、語彙も著しく増加し、自分の意思や欲求を言葉で表出できるようになる。
- *行動範囲が広がり探索活動が盛んになる中、自我の育ちの表れとして強く自己主張する姿が見られる。
- *盛んに模倣し、物事間の共通性を見いだすことができるようになる。
- *象徴機能の発達により、大人と一緒に簡単なごっこあそびを楽しむようになる。
 - 「現実には無いもの」を「他のもの」に置き換えて表現する働き
(例：おままごとで実際にはないものを見立ててあそぶことなど)



5. ちゅうりっぷ組の目標

保育園の目標と2歳児の特徴を踏まえて、子ども達の意欲を大切にしながらちゅうりっぷ組の目標を立てました。

- <健康> 戸外あそび、活発な運動あそびを通して丈夫な身体を作り、何でも食べる子ども。
- <人間関係> 友達を優しく思いやりながら、たのしくかわりを持ってあそぶ子ども。
- <環境> 身の回りの小動物、植物などに触れて、探索や模倣などをしてあそぶ子ども。
- <言葉> 日常生活に必要な言葉が分かり、自分のしたいこと、して欲しいことを言葉で表す子ども。
- <表現> クレヨンやはさみなど身近な道具を使ったあそびを十分に楽しむ子ども。

6. 取り組みとしては…

- ☆おひさまタイムにお兄さんお姉さん達と共に参加して、その姿を真似て上手に並んでお話を聞けるようにしていく。
- ☆季節や行事を知り、新たな生活の楽しさを味わえるようにする。
- ☆散歩や戸外活動、ダンスを通して体を動かすことの楽しさを味わえるようにする。



～一人一人のペースに合わせて、無理なく、
楽しく充実した毎日を過ごせるように努めて参ります～